

# 基本理念と基本姿勢

## 【町政運営の基本理念】

**「クリーンな町政を継続して、持続的に自立した活力ある自治体を目指します」**

基本理念は、今後の目標(ビジョン)です。地方創生・人口減少の時代を見据えて活力ある持続可能な地域社会をつくるのが、今の富加町にはとても大切なことです。この基本理念に添って町政を推進します。

## 【3つの基本姿勢】

1. 「クリーンな政治」を継続します
2. 「生活者の視点」で町政の運営にあたります
3. 「住民が主役」の町政をつくります

基本姿勢は、町政に取り組む基本的な姿勢です。この3つの基本姿勢に基づき、現在に至るまで町政に携わってきました。今後もこの姿勢を貫き、平成27年度に策定した、富加町総合戦略及び富加町第5次総合計画に基づき町政を推進し、令和2年度には富加町第2期総合戦略と富加町第五次総合計画後期基本計画を一体的に策定し、町政全般（行財政改革、福祉政策、教育政策、産業振興政策、インフラ整備、災害対策等）を進めてゆきます。

## 富加町の現状と将来像について

今回の選挙は、過去の二期8年間の私の町政に対する審判を仰ぐ重要な機会であると考えます。

地方創生・人口減少の時代を見据えて活力ある持続可能な地域社会をつくるのが、今の富加町に求められています。今回は新たな富加町を創造していく大切な機会でもあり、また令和2年度は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にかかる「富加町第2期総合戦略」と一体的に策定することとした「富加町第5次総合計画の後期基本計画」の策定が控えております。令和3年度からの5年間を充分見据えた上で、広く皆さまのご意見を伺いながら、未来の富加町へ確実につなげて行けるものになりたいと考えており、これらに基づき町政を推進してゆかなければなりません。そして私の過去8年間で成し得なかった部分を補うような政策が求められていると考えます。

今の富加町に町民の皆様は満足していられるのでしょうか？

とても住みやすい富加町であり、生活環境は一定の水準に達しているとはいえ、まだまだ町民の皆様が満足できる状況にはないと思います。その現状として、富加町の人口は平成2年の5,898人をピークに、その後は減少の一途を辿り、前々回の国勢調査の平成22年には5,516人にまで減少してしまいました。平成27年度の国勢調査では岐阜県内42市町村の内、人口が増加した6市町に入り5,564人と48人(0.9%)増加したことは評価すべき事ですが、将来予測としては、国や人口問題研究所等の推計では減少すると予測されています。令和二年は国勢調査の年であり、その結果を注視しているところですが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響等不安定な社会経済情勢の中、予断を許さない状況が続いています。

町としての適正人口は最低ラインとして約10,000人以上とされていますが、富加町の現在の人口動態は安心できる状況ではありません。私は、富加町が人口増加対策に必要な施策を実行すれば十分成長が見込め、今以上に魅力ある町となる大きな可能性を秘めていると考えるものです。それが、富加町の健全で調和のとれた発展に必要不可欠なことであると考えています。

私は、従来からこの人口増加対策を政策の中心に据え、町政全般（行財政改革、福祉政策、教育政策、産業振興政策、インフラ整備、災害対策等）を進めていくのが今後の富加町のあるべき姿であると考えております。具体的には、富加町第2期総合戦略と一体的に策定する富加町第5次総合計画後期基本計画を基にしながら、以下の私のマニフェストとして掲げた施策を実行することにより、夢と希望を持って子育てができ、高齢者にもやさしい、住んでよかったと感じることのできる富加町が実現可能と考えております。

### 私のマニフェスト（令和2年度版）

1. 富加町第二期総合戦略及び富加町第五次総合計画後期計画を一体的に策定し積極的かつ着実に推進します。
2. 人口増加対策の為の定住施策（JUSTomika Life ジャストトミカライフ）を積極的に推進すると共に情報発信に努めます。
3. 県道富加・七宗線バイパス等の基幹道路の整備を促進します。
4. 子育て支援策及び安心して生活できる福祉施策の一層の充実をはかりこども達と高齢者にやさしい町を創出します。
5. ICT教育の環境整備を更に推進します。
6. 「日本最古の戸籍ゆかりのまち」を積極的にPRをします。
7. 農業・商工業の産業振興策に積極的に取り組みます。
8. 積極的な情報公開を継続し、タウンミーティング等の町民との対話を継続します。
9. 定住自立圏協定を対等な立場により積極的に推進します。
10. 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図り、町民の生活や地域経済を守るため必要な支援をおこないます。